

石川県立山中漆器産業技術センターの平成26年度管理状況

施設所管課	商工労働部経営支援課
指定管理者	(公財) 山中漆器産業技術センター 理事長 田中 新太郎
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務の実施状況																		
使用する者への利便の提供に関する業務	<p><u>施設の使用受付、案内等の接遇向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者への対応について、職員間の情報共有の徹底を図ることにより、接遇の向上に努めている <p><u>利用者の苦情・意見の把握・対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートの実施 利用者ニーズの反映（機器の修繕等） <p><u>その他特記事項</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 利便向上のため開館時間を夜9時まで延長（火曜） 組合の体験教室事業のために臨時開館（8月10日） 																		
利用の促進に関する業務	<p><u>「挽物轆轤技術」の後継者育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 挽物轆轤技術研修に関する業務 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>研修生数（人）</th> <th>講義時間（時間）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎1学年</td> <td>6</td> <td>1,440</td> </tr> <tr> <td>基礎2学年</td> <td>6</td> <td>1,376</td> </tr> <tr> <td>専門1学年</td> <td>3</td> <td>544</td> </tr> <tr> <td>専門2学年</td> <td>4（内1名休学）</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19（内休学1名）</td> <td>4,080</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>自主事業の企画・実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 企画展の実施（センター展示室、県立伝統産業工芸館、県大阪事務所） 産業振興事業に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> 漆芸教室 受講生 延べ603人 パソコン教室 受講生 14人 山中漆器史研究 受講生 3人 挽物木地動向調査事業 県民等への普及啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> 見学者への説明 609人 体験研修の実施 231人 <p><u>施設の情報提供、広報、広告</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページを運営 	区分	研修生数（人）	講義時間（時間）	基礎1学年	6	1,440	基礎2学年	6	1,376	専門1学年	3	544	専門2学年	4（内1名休学）	720	計	19（内休学1名）	4,080
区分	研修生数（人）	講義時間（時間）																	
基礎1学年	6	1,440																	
基礎2学年	6	1,376																	
専門1学年	3	544																	
専門2学年	4（内1名休学）	720																	
計	19（内休学1名）	4,080																	

	<p>周辺地域、関係機関との連携・協同の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業試験場との技術交流、指導 ・技術的な情報提供及び相談 ・利用者への図書の貸出 												
授業料の徴収に関する業務	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>授業料（年額）</th> <th>徴収額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎コース</td> <td>221,000円</td> <td>2,652千円</td> </tr> <tr> <td>専門コース</td> <td>148,500円</td> <td>891千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>3,543千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>未納なし</p>	学科	授業料（年額）	徴収額	基礎コース	221,000円	2,652千円	専門コース	148,500円	891千円			3,543千円
学科	授業料（年額）	徴収額											
基礎コース	221,000円	2,652千円											
専門コース	148,500円	891千円											
		3,543千円											
使用の許可に関する業務	<p>開放施設・機器の使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用許可の件数（2（2）参照） ・使用料の収入実績（2（3）参照） 												
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃委託 週1回の館内清掃 保守点検委託 消防設備、エレベーター、空調設備） 警備委託 夜間の機械警備 小規模修繕 集塵機修繕等</p>												
（その他知事が必要と認める業務）	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡網の策定 												

2 施設の利用状況

（1）利用指標

指標	H25年度 （参考）	H26年度	前年度比	増減理由
研修生数	16人	19人	118.8%	県大阪事務所での企画展開催、県外卒業生の活躍等により、県外からの研修生の入学が増えたため
利用者数	1,776人	1,564人	88.1%	団体の見学が減ったため

（2）使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
施設使用	6件	0件	
開放機器使用	137件	0件	

（3）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
施設使用	8,905円	6,975円	山中漆器連合(協)及び ISICO の利用

開放機器使用	66,030円	0円	
--------	---------	----	--

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	37,719	人件費	12,927
入学手数料等徴収事務委託料	139	委託費	2,707
授業料収入	3,543	光熱水費	1,765
使用料収入	75	修繕費	1,087
		その他管理費	4,444
		轆轤研修事業費	18,546
合計	41,476	合計	41,476
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

① 利用者の意見等

ア 利用者アンケート結果

・ろくろ研修事業（平成27年3月実施 有効回答数8件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%

・施設開放事業（平成26年4,5月実施 有効回答数6件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%

・漆芸教室事業（平成27年3月実施 有効回答数14件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%

イ 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成 26 年 4 月	・色漆の種類を増やしてほしい。	・産業振興事業の内容に応じて、必要な備品を揃えていく。
平成 27 年 3 月	・時々故障している機器があった。	・こまめな点検等により、修繕や買い替えを行っていく。 ・サンドブラスターのコンプレッサーについては、H26 年度買い替え済み。

② 事故、故障等

年月	内容	対応
該当なし		

③ その他報告事項など

特になし

(7) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・漆器に関する様々なスペシャリストを講師として招き、研修生に対して高いレベルの研修を行っている。特に所長（人間国宝）である川北良造氏自ら、所定講義回数以上の技術指導を積極的に実施している。 ・研修生をはじめ、産地の漆器関係者に対して、山中漆器産業の育成及び支援を行うための、調査等を積極的に行い、国内産地からの挽物轆轤の受注システムの検討をしている。 ・児童生徒や一般を対象とした見学や体験教室等を積極的に実施し、山中漆器の普及啓発に努めている。 ・組合員が自分の専門以外の漆に関する技術を習得する漆芸研修に加えて、産地でも要望の高い3D プリンタ等について学ぶパソコン研修を実施している。 ・入学案内書は県内の高校へ持参すると共に、研修内容について詳細な説明を行っている。また、高校の卒業予定者を対象にした体験研修を実施している。 ・入学に関する問い合わせを受けた場合は、必ず事前に当センターで体験を行うよう依頼している。入学前に「漆器づくり」という仕事の厳しさを実感してもらうことで、質の高い研修生を集めることができる。 ・地元の漆器事業者が施設・開放機器をより利用しやすいように、研修所の開館終了時間を週1回（火曜）、午

		<p>後5時から午後9時に延長している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生や施設利用者を対象としたアンケートを実施しサービスの維持向上等に活用している。 ・木地挽物受注システムの運用を行うために、センターのホームページを拡充している。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・挽物轆轤研修事業を円滑に進めるために、設備の保守点検を定期的に行うなど、適切な維持管理に努めている。 ・設備等が故障した場合は、研修等に支障が生じないように速やかに修繕を行っている。 ・轆轤を挽く時に発生する木屑等を封筒や畜産物の床どこ等に利用している事業所に収集してもらい、リサイクルしている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡網を策定し、非常時に備えた危機管理体制を整えている。 ・ノウハウをもった職員を適切に配置することで、漆器業者の相談や見学・体験者への対応といった点を含め、適切な管理運営を行っている。 ・各種の基礎データを整備・分析し、経費節減と環境に配慮した管理を徹底している。 ・研修生、相談者の個人情報保護に留意している。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・山中漆器産業の育成及び支援を行うことを目的として適切な管理運営を行っているほか、山中漆器に関心のある県民に対しての普及啓発事業も積極的に行っている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

（8）助言・指摘事項